

印西大師 第42番 法目・仏法寺

1 名称 (No.042)〔手引鏡：仏法院〕〔資料館：仏法寺〕〔行程表：仏法寺〕

2 場所 白井市復987 仏法寺

上長殿・観音堂から道程約620m

GPS座標 35.7865559652726, 140.06077097249022

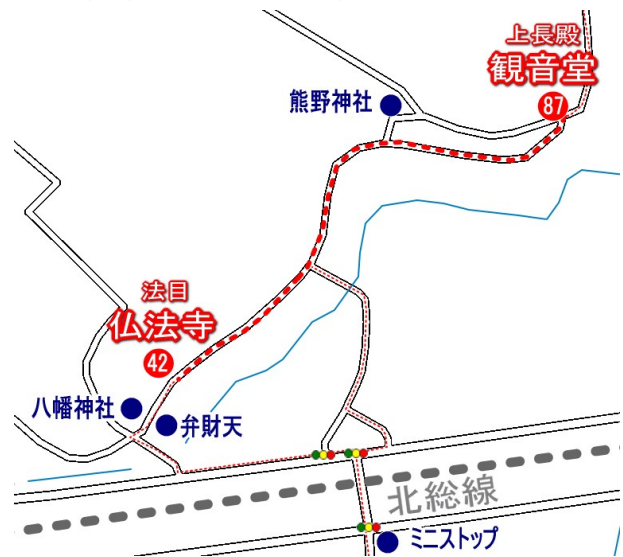
3 由緒 天台宗 長命山 佛性院 佛法寺

開創の年代は本尊の木造阿弥陀如来坐像 両脇侍立像が13世紀中頃に制作されたと判明したことによって開基は鎌倉時代と思われています。(中略)近年では平成10年3月に山門を再建し、同時に境内整備をいたしました。樹齢300年を超える白梅は毎年花を咲かせて皆様をお迎えしています。平成21年12月に御本尊阿弥陀如来三尊像が白井市指定文化財に登録されました。(仏法寺HPより)

4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体あり。

5 境内 山門前に元三大師(がんざんだいし)、山門を入ると藤棚、延命地藏尊、白衣観音菩薩(びやくえかんのん)、六地藏尊、水子地藏菩薩などがある。

6 写真 (2022.11撮影)



大師堂



御大師様



御詠歌



白井七福神・寿老人



仏法寺山門



仏法寺本堂

7 情報

(1) 印西大師 第42番 仏法寺 御詠歌 (泉倉寺本による)

草も木も佛になれる仏木寺(ぶつもくじ) 猶(なを)頼もしき鬼畜人天

四国八十八ヶ所 第42番 真言宗御室派 一か(王果)山(いっかざん) 毘盧舎那院(びるしゃないん) 佛木寺(ぶつもくじ) 写し

(2) 仏法寺

復村字道祖神下にあり天台宗にして泉倉寺末なり阿弥陀如来を本尊とす由緒不詳（中略）檀徒243人（印旛郡誌）

(3) 木造阿弥陀如来坐像及両脇侍立像

佛法寺の本尊として伝わる木造阿弥陀如来坐像（もくぞうあみだによらいざぞう：中央）は市内最古級である鎌倉時代、13世紀中頃に作られたと考えられています。その体は複数のヒノキの部材を漆で貼り合わせた寄木造という制作方法で作られています。目にはガラスを使って像を生き生きとさせる玉眼という手法が使われています。阿弥陀如来坐像は頭・体のバランスがよく整っていて、運慶風の伝統がうかがえます。また、阿弥陀如来の両脇に立つ両脇侍像の観音菩薩立像（かんのんぼさつりゅうぞう：右）・勢至菩薩立像（せいしぼさつりゅうぞう：左）は、一緒に作られたものと考えられます。（原則非公開）（白井市HPより）



(4) 法目のオビシャ

法目のオビシャは毎年1月15日に八幡神社で行われ、星状の文様に「鬼」と書かれた的を、ガマズミの木で作った弓で射ることで、その年の豊凶を占います。法目のオビシャは市内を代表するオビシャ行事です。※オビシャとは、漢字で「歩射」とも書かれ、的を弓で射てその年の豊凶を占い、また、前もって豊作を祝う予祝儀礼であると共に、邪悪なものが外から侵入しないように願う破魔の意味もあるといひます。（白井市HPより）



8 関連Web

○仏法寺 <http://buppouji.sakura.ne.jp/engi/>